

お問い合わせ先

海上保安庁海洋情報部航海情報課課長補佐

岡本 博行

03 - 3541 - 4510



平成23年5月27日

海上保安庁

## 電子海図が見やすくなりました

航海用電子海図(ENC)では、従来、縮小表示してもすべての情報を表示していましたが、今般、縮尺に応じて表示情報を自動的に選択する機能が追加されました。これにより、航海の安全性を配慮しつつ、さらに利便性・効率性が向上されることとなります。

航海用電子海図(ENC)は、従来、航海に必要な情報である海図シンボルや水深をすべて表示することから、縮小表示したときに表示が混雑し判読しづらい状況になっていました(図1)。そこで、海図の利便性・効率性を向上させるため、航海者が見ている縮尺に応じて表示情報を自動的に選択する機能が付与されました。これにより、安全性にも配慮しつつ、常に見やすく表示することができます(図2)。



図1



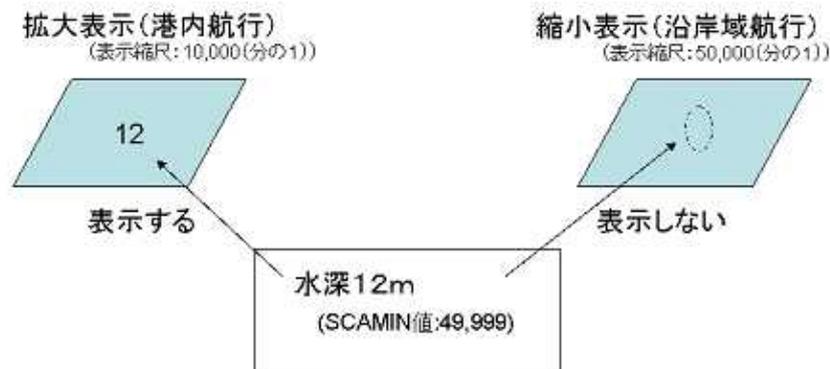
図2

### 【表示情報を自動的に選択する仕組み】

表示情報を自動的に選択する機能は SCAMIN\* と呼ばれます。SCAMIN で、表示情報を自動的に選択する機能の仕組みは以下のとおりです。

航海用電子海図（ENC）で表示される海図シンボルや水深の一つ一つに、SCAMIN 値という値が付与されます。電子海図表示システム(ECDIS)は、SCAMIN 値を比べ、縮尺に応じて表示します。

たとえば、その海域の非常に重要な水深の場合は、航海安全上すべての縮尺において表示される必要があります。その場合、SCAMIN 値は大きく設定します。一方、たとえば港内の堤防のそばの水深は、沿岸域を航海している場合には致命的な情報でないと考えられます。その場合、SCAMIN 値を小さくし、縮小表示した時に表示されないようにします。



SCAMIN 値の設定は、このように海図シンボルや水深の一つ一つにおいて、航海安全という目的にかなうように注意深く設定する必要があります。最初の SCAMIN の設定は、平成 22 年 10 月、東京湾周辺の ENC で行われました。その後、順次設定を行い、平成 23 年 5 月 27 日に全国の ENC において設定が終了しました。

なお、この機能の強化は、ENC の最新維持を行う電子水路通報(ER)によって行われることから、ユーザは追加の費用を負担することなく、利便性・効率性が向上されることとなります。

海上保安庁は、平成 24 年 7 月から順次国際航海に従事する船舶に対して ECDIS の搭載が義務化されることを踏まえ、ENC の利便性向上に努めることとしています。

\* SCAMIN : Scale minimum. (情報を表示する最少縮尺)